

平成28年美濃加茂市議会第4回定例会一般質問通告一覧

* 各議員が市政一般について質問します。制限時間は、答弁も合わせて1時間以内です。

No.	議員名	質問要旨
1	片桐美良 新生会	1 市長の政治姿勢について
		① 控訴審判決に対する現在の思いと、市政運営に対する決意は
		② 議会声明に対する所見
		2 (仮)総合医療センターについて
		① 譲渡価格
		② 今後の諸課題
		3 公共交通について
		① 現行のあい愛バスの利用者人数と運行経費
		② 利用促進策を全庁的課題ととらえているか
		③ バス停は全部でいくつ増設か
		④ 運転免許返納者への優遇対策は、緊急課題ではないか
		⑤ 自力でバス停まで移動困難な方への対策は
		4 国民健康保険について
		① 2018年から改正で、県が財政運営の責任主体となると本当に制度の安定が図られるか
		② 当市の計算方式は4方式だが、その理由と資産割を外す考えは
		③ 当市はなぜ料方式か
④ 基金は保有財産になると考えるが、その活用方法は		
⑤ 県から納付金の詳細基準はいつ提示されるか		
2	日置祥子 共産党 美濃加茂市議団	1. 国民健康保険について
		① 国民健康保険加入者の主な職業は
		② 美濃加茂市の国民健康保険加入者の年齢構成は ・60歳未満 ・60～65歳未満 ・65～75歳未満
		③ 国民健康保険を他の公的医療保険(健康保険組合・協会けんぽ・共済組合)と比べて大きな特徴は
		④ 次にあげる年の国民健康保険歳入決算額に対する国庫補助金の割合と一般会計繰入金割合は 1980年 1985年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年
		⑤ 国民健康保険会計で黒字決算ということについての所見は
		2. 子どもの貧困について
		① 美濃加茂市の子どもの貧困の実態調査は
		I どのような方法で
		II どの部署で
III 把握の進捗状況		

No.	議員名	質問要旨
		② 中学生までの子どものいる世帯の平均所得は
		③ 中学生までの子どものいる母子世帯の平均所得は
		④ 市内の小中学生の児童生徒数は そのうち就学援助受給者数、要保護者数と準要保護者数 それぞれ何人か
		⑤ 就学援助の認定基準は
		⑥ 援助内容と総支給額は
		⑦ 援助費の振り込みはいつか
3	佐合広和 新生会	1. 豪雨災害の確立年について ① 想定外の災害と確立年の豪雨対策についての考え方は
		2. 市のキャッチフレーズについて ① 飛騨・木曾川を擁する本市において「清流が交わるまち」の新キャッチフレーズを採用する考えはないか
		3. シティプロモーションについて ① シティプロモーション戦略の一つとして、公用車等に市のシンボルである「アジサイ」「ムクノキ」「青(コバルトブルー)」を使ったカーラッピングを導入するなど、もっと活用する考えはないか
		4. ふるさと検定について ① 本市の魅力の再発見や郷土愛の醸成のため「美濃加茂ふるさと検定」を実施する考えはないか
4	村瀬正樹 新生会	1. 障がい者用グループホーム(GH)建設について ① 障がい福祉サービス利用状況から見られる市の障がい者の実態を示されたい。施設入所・共同生活援助(GH)・短期入所(ショートステイ)・生活介護・就労継続支援B型について 市内、市外の人数と市外の市町村別人数 ② 障がい福祉サービス事業所、障がい児者関係団体からの、GH建設の要望、相談はないか。また、市から諸団体へのはたらきかけはなかったか。 ③ 認知症高齢者向けのGHと障がい者向けのGHの違いを問う ④ 国の障害者総合支援法や市第4期障がい福祉計画にうたわれている「すべての障がいのある人が地域で安心して生活できる住みよいまちづくり」からすると、本市にもGHができてよいかと思うが見解は ⑤ GH建設は社会福祉法人が母体となる例が多いが、市が直接作ることはいか ⑥ GH用に市有地の無償提供、無償貸与できる土地はないか。できないならそのわけは ⑦ 市の福祉課として、GH建設に関しできることは何か。障がい者を持つ親として、どうしたら親なき後の子の生活の場を確保できるか示されたい

No.	議員名	質問要旨
5	山田 栄 真摯会	1. 日本昭和村及び里山千年構想について
		① 日本昭和村入園料の無料化の方針に対する所見は
		② 日本昭和村未供用地活用についての県への要望は
		③ 日本昭和村・楽天の森・健康の森の連携について
		④ 日本昭和村未供用地の平成29年度以降の事業財源は
		⑤ 「やぎ」の実験の今後の方針及び他の活用について
		⑥ 「アベマキ」「竹」を活用した事業の現況と今後について
		⑦ 里山整備に係る竹木破砕機の管理、購入について
		2. 牧野ふれあい広場内グラウンドについて
		① 広場内に建設される太陽光発電所の規模・契約内容・契約期間終了後の土地利用について。また建設に向けたスケジュールと地元協議は
		② 遺跡上のグラウンド計画であるが調査等の問題はないか
		③ 正式な400mトラックのグラウンド整備になるのか
		④ 整備予算の財源は
		3. かわまちづくり事業について
		① 亀淵管理道路の今渡ダムまでの延長について。及び遊歩道に太陽光発電の防犯灯設置の考えは
		② 中山道会館南堤防から船着き場へのスロープの安全柵について
		③ 「ライン下り」の取り組みの現況は
		④ 中之島公園に国旗・市旗掲揚場設置、常設野外ステージ建設の考えは
		⑤ 木曾川・飛驒川の今渡ダム湖を取り巻く周辺地域の遊歩道整備の考えは
		4. 加茂川総合内水対策事業について
① 前平総合運動場、西総合グラウンドにおける貯留浸透施設工事の整備時期について(予定通り進められるかどうか)		
② 西体育館建て替え工事の現況と今後の予定について。及び西総合グラウンド・西体育館周辺の排水路整備について		
③ 加茂川流域で最も被害を受けやすい住民の太田小への避難の有り方について(冷暖房整備がある教室の活用はどの様になっているか)		
6	前田 孝 共産党 美濃加茂 市議団	1. 新年度予算編成について
		① 日本共産党の2017年度要望書
		② 防災行政無線戸別受信機設置についての進捗状況は
		③ 障がい者施設整備及び障がい者雇用促進法推進
		I グループホーム建設
		II 障がい者雇用の実態は

No.	議員名	質問要旨
		<p>2. 自治会要望について</p> <p>① 2015年度の地区別要望件数と処理状況</p> <p>② 2015年度の種別要望件数と処理状況</p> <p>③ 2015年度の地区別随時要望件数と処理状況</p> <p>3. 高裁判決について</p> <p>① 判決についての市長の所見は</p> <p>② 今後の市政運営にあたっての市長の見解は</p>
7	高井 厚 新生会	<p>1. 判決後の市長の政治姿勢</p> <p>① 平成25年の7月以降、業者との会合が飲食店であったが、警戒心の有無は</p> <p>② 業者とのメールのやり取りが結果的に判決に使われているが、メールの危険性の自覚はどうであったか</p> <p>③ 市長職を継続されると聞いているが、その決心に至る思いは</p> <p>2. 児童生徒の教育支援の充実について</p> <p>① 中学校区の見直し 児童生徒が適正な学校規模の中で平等な教育を受けられることを前提に、顕在化していた大規模校・小規模校問題を、平成25年度から校区の再編成という形で解消していく努力がなされている。各方面の受け止めはどう変わってきているか</p> <p>I 3中学校の改善ぶりを、「学級数に伴う教員増」、「部活動の種類や数の変化」、「通学路の安全面」の観点で伺う</p> <p>II 平成30年度までには校区の見直しがなされるが、「現在の問題点」、「見直しのメンバー」、「見直しの観点」は</p> <p>② 小学校規模適正化と統廃合 平成26年度策定の本市教育振興基本計画には、小規模校に複式学級の存在すること、集団活動が制約をうけているという問題の解消に向け、小学校の統廃合に取り組む旨が記されている。そんな中、平成29年度からの伊深小学校、三和小学校への小規模特認校制度の導入の準備が進められている</p> <p>I 特認校スタートを目前に、進捗状況は</p> <p>II 小規模校の統廃合についての見解は</p> <p>③ 特色ある学校づくり 予算配当の突出した学校はなく、学校規模にも応じているようで、不思議な感触である。活用計画の欄に記述されている項目は、その活動が特色ある「学校づくり」に繋がっているのか</p> <p>I 「特色ある学校づくり」の定義は。またこれを事業推進する理由は</p> <p>II 学校の選択制度(校区の撤廃)への移行の考えは</p> <p>III 特色化に向け、学校管理規則の見直しの考えは</p>

No.	議員名	質問要旨
		<p>3. 営農推進事業について 本市の農業の現状を考えると、米作りや畑作業を行わず、不作付けの農地が広がり、田畑を手放すということが、じわじわと不断に進行しているとの認識である。跡取りの方には営農意向がないのだが、自分が元気なうちは営農を続けようと考えている方々もあるが、年齢や健康のこともあってその先は不可解</p> <p>① 農地バンクによる農地集積について</p> <p>I 実績はなかなか進まない印象だが、原因や理由をどう分析しているか</p> <p>II バンク登録は9団体であるが、今後増えていきそうか</p> <p>III 企業の参入についての市の考え方と現状は</p> <p>② 農業経営基盤強化促進法による利用権設定</p> <p>I 利用権設定と農地バンクとの兼ね合いについての市の考え方は</p> <p>II 平成28年度の実績はどうなっているか</p> <p>③ 農地の面積について</p> <p>I 1,675ヘクタールの農地全体面積のうち、不作付けの田畑面積は</p> <p>II 農業委員会等に関する法律の改正にどんな効果が期待できるか</p> <p>④ 小規模農地多品目栽培推奨の考え(農地集積と並行して)について</p> <p>I 農業者以外の人への家庭菜園従事事業をPR・展開できないか</p> <p>II 農地提供者や耕作希望者には補助金を出せないか</p>
8	渡辺孝男 真摯会	<p>1. 市民健康診断について</p> <p>① 生涯学習センターで行う市民健康診断時、市役所駐車場が満杯になり市民が困惑されているが受診率に影響はないか</p> <p>② 駐車場混雑時に職員が交通整理を実施しているが通常の業務に支障がでないか</p> <p>③ 問題解決のため、市の他施設に市民健康診断場所を移動するなど、市としての方策は考えているか</p> <p>2. 空き地の雑草対策について</p> <p>① 空き地に生えている雑草の処理を地主が実施されないため、火災など地域住民に不安があるが市としての対応は</p> <p>② 市民の方が景観もよく安全な地域に暮らせる方策を他市の状況など参考に、何か立案すべきと考えるが市の考えは</p> <p>3. 可燃ごみの減量について</p> <p>① ごみの減量を毎年計画されてるが、どのような基準、方針で策定されているか</p> <p>② 可燃ごみの中に古紙なども含まれており、分別を促せば、ごみの量が減ると思うが市の考えは</p> <p>③ 他市で木の葉、剪定時の枝等を「緑ごみ」として回収し、堆肥・バイオマスの燃料等に再利用されているが本市も可燃ごみと分別回収を考えてはどうか</p> <p>4. 「みのかも元気体操」について</p> <p>① 若手職員のCS実践活動でコンセプトを考案し、作成された「みのかも元気体操」を、市民体操として、市民の健康促進につなげてはどうか</p>

No.	議員名	質問要旨
		② 体操は、指導者がいないと判らない部分もあるため、動画を作製し、各団体や企業等へ配布して、普及を図ってはどうか
9	渡辺益巳 創政会	<p>1. 水道事業老朽管改修について</p> <p>① 幹線更新事業で市内の延べ延長は574kmと聞いている。配水管の耐用年数は約40年とされているが、40年以上経過した敷設管の距離は何kmあるのか。今後の老朽管の更新計画はどのように進めるのか</p> <p>② 年間配水量と年間有収水量から有収率が年々減少している。その理由として考えられる事項、その対応策は</p> <p>③ 市の水ということで、アルミボトル缶375mlが災害用備蓄飲料水として販売もされている。災害時は1日3L3日分必要である。現在災害用として市の飲料水はどれだけ確保しているか、また、保存期限3年を7年～10年に延長することができないか</p> <p>2. 消防団員報酬について</p> <p>① 可茂地域管内2市8町村の消防団員報酬を比較すると当市と御嵩町が一番低い現状である。また、県下の各市と比較すると21市中9番目に位置している。当市の団員報酬は数年前に改正しているが、見直しの考えはあるか</p> <p>3. 業務継続計画BCPについて</p> <p>① 市長不在時の職務代行順位と職員の参集体制</p> <p>② 本庁舎被災に備えての代替庁舎の現状と課題・問題点</p> <p>③ 非常用発電機設備と燃料の確保について実態</p> <p>④ 防災無線や衛星携帯電話の準備</p> <p>⑤ 戸籍等重要データのバックアップの確保</p> <p>⑥ 災害発生後1週間までの優先業務の整理</p> <p>⑦ 本年10月に地域防災計画に基づき職員非常体制が行われたが、問題・課題</p> <p>4. カーブミラーの有効利用について</p> <p>① 市内各地区の交差点・T字路に設置されているカーブミラーの支柱に町名の入ったプレートを取り付ける考えは</p>
10	牧田秀憲 真摯会	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>① 今回の2審判決を受けて</p> <p>2. 子ども・子育て支援事業計画について</p> <p>① 平成26年に作成された美濃加茂市子ども・子育て支援事業計画が平成27年度から31年度までの5年間計画で事業計画を開始したが国が出してきた地方創生の観点からこの計画の見直しはあるか</p> <p>② 子ども・子育て会議が4月と8月に行われているが、会議の内容で見えてきたものは</p> <p>③ 私立幼稚園との連携は</p> <p>3. 学力向上に向けて</p> <p>① 全国学力学習状況調査において当市の結果の感想</p> <p>② さらなる向上に向けての取り組み</p>

No.	議員名	質問要旨
		<p>4. 学童保育について</p> <p>① 基本3年生を学童保育の対象としているが、4年生以上の学童保育の考えは</p> <p>② 古井小校区の学童保育にあつては本郷教員住宅の1階部分を改修し、40人の利用を考えているが来年度の体制についてはどのように行われるか</p> <p>③ 他校の学童保育の現状</p>
11	坂井知足 創政会	<p>1. 高齢者の交通事故について</p> <p>① 最近の高齢者の交通事故に対する所見 最近、国内では高齢者による交通事故が、毎日のように発生している。10月28日には、横浜市で小学生が犠牲になった、痛ましい事故が発生している。このような高齢者の交通事故に対する所見</p> <p>② 本市の交通事故の現状と高齢者の事故 本市の交通事故の現状(事故件数、事故の原因等)と、これらの事故のうち高齢者による交通事故の現状と事故原因の分析</p> <p>③ 高齢者の交通事故の防止対策 これら高齢者の交通事故防止対策の現状と今後の取り組み(運転免許証の自主返納制度に対する特典等)</p> <p>2. 姉妹都市(友好都市)提携について</p> <p>① 姉妹都市(友好都市)提携の目的と意義 姉妹都市とは、文化交流や親善を目的として結びついた都市(まち)と都市(まち)と言われている。この姉妹都市提携の意義</p> <p>② オーストラリア・ダボ市との姉妹都市交流 当市は、平成元年の市制35周年を記念して、オーストラリア・ダボ市と姉妹都市を提携し、お互いに発展、交流を重ねてきた。ダボ市との交流の現状と今後</p> <p>③ 国内各市・町との交流と都市提携等 「みのかも市民まつり」では、宮城県東松島市、富山県氷見市、和歌山県由良町のブースが設けられ、特産品の販売がされてきた。また、熱海市とも交流があり、これらの市・町との今後の交流と姉妹都市(友好都市)提携</p> <p>3. 電線の地中化事業について</p> <p>① 本市の電線地中化事業の現状と今後の計画 美濃太田駅を中心とした市街地は新しく整備されてきたが、その街並みも電柱・電線によって景観が大きく損なわれている。中山道太田宿周辺も同様である。本市の電線地中化事業の現状と今後の計画</p> <p>4. 振り込め詐欺(オレオレ詐欺)について</p> <p>① 振り込め詐欺(オレオレ詐欺)の現状 被害が絶えないニセ電話詐欺。オレオレ詐欺などの振り込め詐欺が増加し、お年寄りが被害に遭っている。当市の現状はどうなっているのか</p> <p>② 振り込め詐欺(オレオレ詐欺)の被害防止対策 大きな社会問題となっている、振り込め詐欺(オレオレ詐欺)に対する、被害防止対策等の取り組み</p>

No.	議員名	質問要旨
12	金井文敏 市議会 公明党	<p>1. 災害発生時における避難所運営について</p> <p>① 内閣府が公表した「避難所の良好な生活環境の確保に向けた取り組み方針」には「市町村の避難所関係職員以外の者でも避難所を立ち上げることができるよう分かりやすい手引き(マニュアル)の整備が必要である」となっている。近年の災害多発の状況に対し、早急に避難所運営マニュアルの作成にとりかかるべきではないか</p> <p>② 内閣府公表の「避難所運営ガイドライン」には「避難所生活は住民が主体となって行うべきもの」となっているが、災害発生時の避難所運営の流れはどのようになっているか。とりわけ、初動期の避難所にあつては、地元住民の避難者が大半であることから、初期避難者の中から代表者を選び、避難所の運営組織を作ることになっているがどうなっているか</p> <p>③ 内閣府の「避難所の良好な生活環境の確保に向けた取り組み方針」には「地域住民も参加する訓練を実施すること」となっているが、避難所運営マニュアルに基づく、避難所設営の訓練の実施状況を伺う</p> <p>2. がん検診の状況について</p> <p>① 本市のがん検診の受診状況の推移をみると、平成21年度と比べ大腸がん検診は増加しているが、その他の検診はすべて減少している。早期発見治療で治癒が可能ながん対策のための施策はどうなっているのか</p> <p>② 継続的な検診推進のためにホルダー式で毎年検診に行くたびに結果を保存するための健康手帳を作成して配布してはどうか</p> <p>3. 野良猫対策のその後について</p> <p>① 野良猫と飼い猫の区別の付きにくい猫だが、飼い猫に首輪をつけるようにすれば区別がつけられるのではないかと。首輪の推進をしたらどうか</p> <p>② 室内飼いが推奨されている猫だが、住宅密集地での糞尿問題がある。対策にプランターを使った簡易トイレを設置している地域もある。無責任なエサやり等で不幸な命を増やさないためにも地域猫運動の推進が必要と考える。是非とも行政でも取り組みができないか</p>
13	柘植宏一 新流	<p>1. 控訴審判決について 副市長を先頭に、執行部は一貫して市長の無実を主張し藤井市長の市政運営を支えてきた。起訴内容における基本的な事項について質問する</p> <p>① 本会議の質疑においてプラントの導入を働きかけたとされるが、当時の藤井議員にそうした権限及び影響力が具体的にあったか</p> <p>② 実証実験プラントの導入と藤井市長の働き掛けにはどのような関係があったか</p> <p>2. 新しい総合事業について</p> <p>① 新しい総合事業推進の中核はいわゆる「協議体」と「生活支援コーディネーター」である。「協議体」は3回にわたり開催され、残すところ1回となっている。28年度における協議体の議論の内容はどうか、また29年度以降の協議体の役割をどのように想定しているか</p> <p>② 市では未だ生活支援コーディネーターを設置していない。新しい総合事業推進における生活支援コーディネーターの役割は欠くことが出来ない。何時、どのような形態で設置する予定か</p>

No.	議員名	質問要旨
		<p>3. 総合医療センター整備事業について 第4回定例会初日議終了後、旧生物工学研究所跡地について、社会医療法人厚生会へ随意契約により譲渡するとの方針が示されたことについて</p> <p>① 譲渡に関わる時期、価格などはどのように想定されているか。また、地域医療体制の強化を含め、厚生会との協議すべき事項はどのようなものが残されているか</p> <p>② 随意契約による売却を選択した理由は何か</p>
14	酒向信幸 創政会	<p>1. あい愛バスについて</p> <p>① 来年新たな運行がスタートする、あい愛バスであるが、現在に至るまでの経過と、運行に向けての現状は</p> <p>② あい愛バスについて、市民の方と意見交換が行われたおしゃべり喫茶のワークショップでの意見がどのように反映されているのか</p> <p>③ 前回のおしゃべり喫茶で、新しい路線案での試乗も実施された。全地区を早朝から運行となり、通学路や道路の狭い所の運行が多少あるが、十分検討されたのか</p> <p>④ 運行するにあたり年間に莫大の予算が必要と聞いたが、運賃・広告収入などの考えは</p> <p>⑤ 運行がスタートしてから定期的に検討会等で内容を見直す場はあるのか</p> <p>2. 子どもの見守りにについて</p> <p>① 最近の通学時の児童を巻き込む事故が増加している中、通学路の実態調査やヒアリングの実施は必要ではないか</p> <p>② 通学路等における児童等の安全確保として子ども110番の家の機能性の中で利用方法の周知や訪問活動や駆け込み訓練状況は</p> <p>3. 平成28年度の特定任期付職員について</p> <p>① 今年度3人の特定任期付職員の採用が予定されていて、2名の方は採用があったが、ファシリテーターの方がまだ決まっていないようであるが、予定はあるのか</p> <p>② 現在2名の特定任期付職員の業務内容の進捗状況は</p>